




会 議 録

会議の名称	行田市在宅医療・介護連携推進協議会 普及啓発部会	
開催日時	平成29年11月9日(木) 開会； 19時00分・閉会； 19時50分	
開催場所	行田市産業文化会館 管理棟 2A会議室	
出席者(委員)氏名	松井毅、浅見和成、荒木 宏、矢那瀬淳一、清水由香理、藤村幸子、寺山有紀、山岸朱美、山岸克也、近藤慶一、前田千穂、加藤里美、川島 治	
欠席者(委員)氏名	寒河江涼太、新井竜	
事務局	行田市高齢者福祉課地域包括ケア担当 行田市機能強化型地域包括支援センター緑風苑	
会議内容	在宅医療、在宅介護、在宅看取りの普及啓発及び広報誌発行(頻度、内容)について	
会議資料	(資料名・概要等)	
その他必要事項		
会議録の確定		
確定年月日	主宰者記名押印	
29年12月7日	 松井毅  浅見和成	

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
松井委員	<p>こんばんは。お疲れのところお集まりいただきましてありがとうございます。今日は第3回の普及啓発の作業部会。先日メールで春日部の協議会の広報誌『春しん』をPDFのファイルで送ったが、確認していただけただか。イメージ的にはこんなものを行田市でも定期的に出せればと思う。いろんなタイプがありA4の裏表の1枚のパターンやA3表裏で二つ折りにしたものが配られているらしい。色々な内容が盛り込まれている。皆さんの意見をお聞きしながらそこに盛り込めたらと思う。ただ、こんな内容載せていけば市民の皆さんに周知したいことがあると思うので、例えば各職種の紹介のような内容を分担してやってもいいと思うし、あとはコラムを載せたらいいんじゃないかというご意見もあった。それを参考に浅見さんに行田市版を作っていたので目を通していただきたい。よくできていると思う。こんなイメージでできればいいのかなと思う。その四角のところにコラムや各4種のグループの進行状況を載せてもいいと思う。あとは例えば地域包括支援センターの案内でもいいと思う。私のイメージはそんなところ。説明をお願いします。</p>
浅見委員  	<p>今、お配りしたものは春日部市の『春しん』を参考に作ったもの。前回の話し合いであった『あなたといっしょに介護保険』はとても見やすく介護保険のこともこれを見れば分かることが多いので皆さんにもっと見てほしいと思い、一番上に写真を貼った。市役所で配られているということ強調して書いた。介護保険について全く分からない方でも勉強になると思う。見た方の友人や知り合いの方にも広まっていけばと思い書いた。次に一番下のところに、これは第一弾という想定で作ったのでこの協議会の紹介ということで真ん中の列のところに「設立」と書かせていただいた。右側の白いところは特にまだ決めていないが、例えば協議会の委員の方の写真を載せるのもいいと思う。その隣はご挨拶というこ</p>

	<p>とで会長のご挨拶があればいいと思い、書いた。一番下には活動内容ということで私たちがいまどうい活動をしているのかを分かってもらえるようにわかりやすい文章で書いた。また一番左の空いているところは皆さんのご意見をお伺いしたいと思うが、コラムや豆知識などを入れられればと思っている。これを高齢者の方が理解できるかわからないが、ご家族の方に向けて作ったというのもあるので見やすく目に留まるような新聞・チラシになればと思い作った。ご意見いただけたらと思う。</p>
<p>松井委員</p>	<p>はい。すごくいいですね。今日は二つの協議をさせていただきたい。メールでも案内したが広報誌の内容とあとはどのぐらいのペースでということ。予算もあり、作業をしなければならないので皆さんの負担にならないようなペースというところのご意見を聞きたい。今日欠席の二人の方からメールで意見が来ているので最初に紹介する。</p> <p>リハビリ連絡会 グリーンピア 新井様。「広報誌に関しては充実した内容であれば6ヶ月、ページ数が少なめなら3ヶ月か4ヶ月。当施設の通所リハでも手作りで新聞を発行しているが、6ページの新聞で3ヶ月ごとに発行している。職員が業務の傍らで作成しているので3ヶ月で何とかできている状況。協議会の広報誌も月1回の会議でまとめていくのである程度の期間が必要。」</p> <p>行田総合病院 リハビリ 寒河江様。「様々な連絡会の紹介、部署や取り組み、相談先を明記するを各連絡会が持ち回りで広報する。あとは認知症予防や歯磨きの仕方、嚥下についてなどのプチ勉強会ができるコラム等を載せるといい。何ヶ月ペースかというのは初めは3ヶ月に1度ぐらいでいいと思う。」</p> <p>あとは皆さんのご意見をお聞きしたいと思う。</p>
<p>荒木委員</p>	<p>歯科医の荒木です。かなり綺麗ないいものを作っていただいた。内容的には皆さんがおっしゃる通りの形でやっていければいい。</p>

	<p>最初は地域包括が全部の窓口になると思うので何かあったら地域包括に相談してくださいという形で広報できればいいと思う。あとは追々それぞれのグループや施設の広報を載せていければいい。年に何回出すかは季刊誌ぐらいの感じで最終的に出せばいいんじゃないか。</p>
松井委員	<p>春夏秋冬。</p>
荒木委員	<p>そこまでいくのも大変かと思う。内容が何ページもあっても見てくれないと思う。裏表ぐらいのところでやっていくのがいいと思う。</p>
前田委員	<p>まきば園の前田と申します。コラムは載せたほうがいいと思う。口腔ケアはすごくいいと思う。口腔ケアをしないと肺炎に繋がるということをご家族の方で知らない方もいらっしゃるのでそういうところを載せてもいいと思う。あとは3ヶ月か4ヶ月に1回ぐらいかなと思う。</p>
寺山委員	<p>うきしろデイサービスで総合事業の通所Cをやっているが知らない方が多く数人しか集まらないので介護保険までは至らない方でもチェックシートでこういったサービスがあるということをごこういったところでもアピールできれば。</p>
松井委員	<p>簡単なチェックシート？</p>
寺山委員	<p>そうですね。要支援等にならない方でもこういうものが受けられるということをごこういったところに載せていただければと思う。</p>
松井委員	<p>どのぐらいのペースがいいか？</p>

寺山委員	春夏秋冬。
松井委員	季刊誌。
山岸(克)委員	みどりの丘の山岸と申します。よろしく申し上げます。内容は膝が痛くて困っているというような具体的な事例を載せてもいいと思う。そうしたらこうしていったらいいよってということが分かる。
松井委員	こういう方はこんな感じの流れでこういう対応していくとかそういうことか？
山岸(克)委員	一回の一事例のような。
松井委員	ある事例の紹介のような。
山岸(克)委員	困っている方がそれに当てはまれば目を引くかもしれない。あと字の大きさはできるだけ見やすく、あまり小さくしないほうがいい。いまこの感じはすごく見やすい。ペースは3、4ヶ月ぐらいを目処にということでもいいと思う。
加藤委員	在宅医療支援センターの加藤です。私は年2回くらいがいいと思う。包括さんの連絡先を載せたほうがいい。あと色々な職種のメンバーさんがいるので、メンバーさんの得意分野を入れていければいいと思う。
松井委員	年に2回というところちょっと多めにするのか？この倍とか。
加藤委員	そうですね、できれば両面。
松井委員	A4両面は最低ということ。

矢那瀬委員	<p>医師会の矢那瀬と申します。よろしくお願ひいたします。まず私の個人的な意見だが窓口を明確にして載せることが重要だと思う。そのあと各部署でなにができるかという部分の各論的なことを載せていくとわかりやすくなると思う。年3回から4回あればいいのではないか。</p>
松井委員	<p>窓口は包括のこと？</p>
矢那瀬委員	<p>そうですね。</p>
藤村委員	<p>藤村と申します。よろしくお願ひします。内容があまり盛りだくさんだと読まない。家族を対象とおっしゃったが、困るのは年寄りだけで住んでいる家庭。家族がいればあまり問題はない。年寄りだけになったとき一番困る。そういうとき年寄りが一番良いのは紙。見やすく、あまり盛りだくさんだと絶対読まないので簡単で量は少ないほうが見やすい。裏表ぐらいで。回数は多いほうがいい。年寄りはすぐ忘れてしまうので。最低でも3回、4回。できれば2ヶ月に1回。これはどこでどういう風に配るのか？どういう対象に？</p>
松井委員	<p>そこも含めて協議したい。回覧板で配るなどいろいろあると思う。各世帯に。</p>
藤村委員	<p>もし年寄り対象なら簡単な一面が見て大体わかるような感じでないと思わないと思う。若い人だったら細かくても読むが、対象はできればお年寄りだけの家庭のほうがいい。</p>
松井委員	<p>字の大きさはこんな感じでいいか？</p>
藤村委員	<p>見えると思う。細かいのは絶対見ない。</p>

清水委員	<p>アイン薬局行田店の清水と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>「市役所で配布中」と赤文字で書いてあるとどこにあるのかが分かる。発行するペースはこの会を通してとなると3ヶ月、4ヶ月は必要だと思う。内容は包括ケアの連絡先は毎回同じ場所に載せて、一枚置いておけばすぐに連絡できるような体制をとれたらいい。コラムは皆さんの職種で色々な強みがあると思うので毎回持ち回りで自分の職種の紹介を載せて案内するのがいいと思う。</p>
松井委員	<p>毎回隅にでもあったほうが確かにいいかもしれない。</p>
山岸(朱)委員	<p>緑風苑訪問入浴サービスの山岸です。よろしくお願いいたします。一号誌ではこの介護保険の広報誌を見ればいいと分かる。問い合わせ先として地域包括の紹介も必要ということを一号誌においては強く思った。コラムのほうでは、例えば今だと感染症についての記事を。年4回程度で。</p>
松井委員	<p>季節的な記事を。</p>
山岸(朱)委員	<p>そうですね。そういうことを年に4回出していけたらと思う。あと毎回事例やQ&amp;Aもあってもいい。わかりやすく。文字ばかりだと読めない方がいるので絵や写真を含めて簡潔・簡単にわかりやすく載せてもいいと思う。</p>
松井委員	<p>チャートなどわかりやすい。</p>
近藤委員	<p>ふぁみいゆデイサービスセンターの作業療法士の近藤と申します。よろしくお願いいたします。内容はプチ勉強会のようなものをコラムとして載せる。あとは窓口のご案内。これは毎回載せる必要があると思う。発行のペースは3ヶ月に1度の年4回もいいが、最初周知をするために期間限定で2ヶ月に1回でもいいと思う。</p>

	<p>パンフレットは漢字が多いと文字としては見づらくなる。平仮名と漢字のバランスや、Zの法則など目のいくパターンがあるので一番目の行く場所に載せていくことは必要だと思う。</p>
松井委員	<p>最初は周知するために2ヶ月に1回でもいいということ。</p>
近藤委員	<p>コストや手間はかかると思うが。</p>
松井委員	<p>それは市と相談しながらになると思う。皆様のご意見がある程度まとまってきたと思う。裏もあるので、活用しながら。事例や協議会の活動を載せ市民の皆さんにお知らせをしたい。そういう項目も載せていければと思う。皆さんの職種ごとに得意分野があると思うので、そういうものも活用していきたい。これを私がまたまとめて皆さんにメールする。最初は浅見さんに作っていただいたものを参考にしながらやっていければと思う。他ご意見は大丈夫か？では次にこの間市からいただいた冊子について。すごくよくできている。非常にもったいない。これが4月に介護保険の改正に伴って変わるので、何か追加で入れる項目はあるかとお聞きした。あと配布の場所について。また最初に欠席の方のご意見を読ませていただく。</p> <p>リハビリ連絡会 グリーンピア 新井様</p> <p>「市の発行する冊子は介護保険についての冊子なので介護保険外の介護サービスについての記載が省略されていると思う。冊子を見た方が介護サービスは記載されているもので全部であると勘違いしてしまうと思った。保険外の介護サービスについても簡単に記載があれば良い。」</p> <p>行田総合病院 リハビリ 寒河江様</p> <p>「介護保険交付時に冊子は配布されているので他にどこで不足しているのか知る必要がある。高齢者だけで理解できるかがどうか大きな鍵かと思う。現状では高齢者が見て分かるよりは家族が</p>



	<p>理解してケアマネと調整するために使用するものになっていると思うので配布場所は主介護者が立ち寄りやすいみらいなどの公共施設や病院、薬局がいいと思う。遠方から見られるようにするにはウェブ上にPDFからダウンロードできるようにすることも必要だと思う。」</p> <p>ネットを活用してという意見もある。介護保険外のものもあるということだが、そういうのも内容に盛り込んでいったほうがいいのかご意見をいただきたい。他に何か載せた方がいい内容はあるか。また順番をお願いします。</p>
荒木委員	<p>介護保険以外では健康教室もやっているようだ。公民館の中に老人を集め、血圧を測って運動をするなどそんな簡単なことをやっているようだ。</p>
松井委員	<p>そういうことをやっているという案内？</p>
荒木委員	<p>そういうものもある。あとは結局老人の人が自分から介護保険のサービス受けたいとなかなか言えない。家族の人が介護保険を使いたいと思うことが多いと思うので、見る人は老人自体というよりは家族。独居の人によく見てほしいのでそういう人にも通じるような配置や文字など工夫をする。特に独居老人は相談する人がいないので、精神的なことで体調が悪くなることがある。あとはそれぞれの独居のところに緊急で繋がり救急車が来てくれるというものがある。またペットボトルの中にその人のかかりつけの病院や緊急連絡先などの情報が入っておりそれが冷蔵庫の中に入っている。そうすると緊急のボタンを押すと救急隊の人が来てくれて本人が喋らなくても情報が分かる。本当は病気とかも分かればいい。あとは身内に連絡ができるようになっているようだ。特に独居の人のところにはそういうものが置いてあるが、一般の人はあまり知らないと思う。そういうことも家族と独居の老人に伝える</p>

	手段が必要だと思う。
松井委員	そうすると逆に広報誌のほうに載せるほうがよい？
荒木委員	そうですね。
松井委員	これは介護保険が中心の案内である。
荒木委員	隣近所の人もそういうことを知っているということが必要。何かあったとき近所の人が一番頼りになる。この辺は農村地帯であるためそういう繋がりがあり、近所の人にもそういうことを伝えられればよい。
松井委員	どこで配ればいいか？
荒木委員	市や公民館、みらいなど人が集まるところに置いてあるといい。薬局とか診療所とかそういうもの全部含めて。
松井委員	民生委員さんや相談員の方など地域で何人かはこれを持っているということ。だからコミュニティーの場など他に置く場所があれば。
前田委員	これは介護保険の載せるべきことが細かく書いてありいい冊子だと思うが、自分が介護関係の仕事をしていなかったら、これを渡されても読むのが嫌になるくらいの量の多さ。これを説明できる人が身近にいないので介護保険や介護が必要になってからこの冊子を読むことになると思う。その前の段階でこれを手にしてもらうには自分ひとりで読むのは難しいので地域包括の方々が担当地区に行く際にこの冊子を配ったり、この冊子の説明をしてもいいと思う。地域包括の方がその地区の方と顔を合わせる機会は何度

	<p>かあり、顔見知りのため話は聞きやすいと思う。そういう人たちが話すのがいいと思う。</p>
松井委員	<p>勝手に取っていくというよりはこれをお渡しするときに必ず説明しながら？</p>
前田委員	<p>勝手に取っていってもらっても構わないが、聞きたいときに聞ける人がいるほうがいい。</p>
寺山委員	<p>私は行田市の介護保険の冊子を使って新規の人や何かあった際に説明することが多い。あまり色々なものを載せると複雑になる。これは介護保険の流れなどよく出来ているし、介護サービスのことも書かれているのでこれはこれでいいと思う。介護保険を知らない人が見たら分かりづらいところもあるかもしれないので介護に携わっている業者の方等が説明できるようになるのがいいと思う。公民館の方や高齢者の人が集まる場所の人などが冊子を見ながら介護保険について説明できるようになればいいと思う。</p>
松井委員	<p>保険外についてはどうか？</p>
寺山委員	<p>保険外のサービスもあるが、それを介護保険の冊子に入れると介護保険を受けていないと受けられないとってしまう。介護保険を受けていないがサービスを受けたい場合はこういった機関紙や別のパンフレットがあればいいと思う。</p>
松井委員	<p>例えばこの中に「介護保険の対象外のサービスもありますので何かありましたらご相談ください」など一言載せておくだけでも違う？</p>
寺山委員	<p>そうですね。</p>

山岸(克)委員	<p>冊子については非常にいいと思う。民生委員さんは人によってばらつきがあり、例えば独居の方のところに顔を出す人もいればあまり機能していないケースもあると思うので、これを作ったらこれを持っていくことを理由として民生委員さんに訪問してもらおう。その際に独居で何かお困りのことありませんかと声をかけ、サービス等を紹介する流れにすればいいと思う。きっかけがないとなかなか顔を見に行かないケースもある。民生委員さんは独居老人をほとんど全部把握していると思うので。</p>
加藤委員	<p>介護保険のパンフレットは何か聞かれたときに答えられるほうがいいと思うので公民館や医療機関にお金がかかるので、吊るして置いていただき、包括や在宅医療支援センターの連絡先は多めに置いて、介護保険を使いたくなったらここに連絡してもらおうというほうがいいと思う。</p>
松井委員	<p>これを置いておいて相談したいときは窓口の声かけてくださいと。確かにこれは立派なものでお金がかかりそうなので。</p>
矢那瀬委員	<p>この介護保険の冊子は行政側としては十分なのであろうと思う。あくまでこれは教科書なので現場とのギャップがあるのは致し方ない。ケースバイケースだと思うので、介護を受けることになったとき現場の方が補足説明をするという方向で、そのギャップを埋めてもらうのが一番いいと思う。保険外の件は機関紙で目に入るようにやればいいと思う。</p>
藤村委員	<p>機関紙は捨ててしまうものと思ったときに相談する連絡先は薬局や診療所など相談しやすいところがいい。包括等は相談しようというときにすぐ相談はできない。最初の段階の電話番号、取り掛かりはもう少し広く、もう少し電話しやすい場所のほうがいい。最初に使おうと思っても初めての方は電話をかけられないと思</p>

清水委員	<p>う。それならばいつも顔を見て、顔を知っている先生方・薬局のほうがかけやすい、相談しやすいのではないかと。</p> <p>冊子は補足的に目で見ると分にはいいと思う。独居の方には分かりづらいということだったので民生委員さんや公民館等に冊子の使い方を知っていただく機会があるとよりこれが活きると思う。部数がばら撒けるほどないと思うので、何部か医療機関等に置くにあたっても使い方を添えて一緒に置けたらいい。</p>
松井委員	<p>説明する人に理解してもらって、そういう講習会が必要ということですね。</p>
山岸(朱)委員	<p>冊子については分かりやすいと思う。これに保険外を追加となると幅広くなり分かりづらくなると思う。確かに保険外のサービスがある。訪問入浴サービスにも障がい者の訪問入浴がある。市の委託でも受けている。そういったことも紹介したいところではあるが障害者という以外にも色々なサービスがあると思うので、偏って入浴だけに偏るのも違うと思う。そういった紹介は機関紙のほうで出来るのではないかと。</p>
松井委員	<p>職種でのコラムでも。</p>
山岸(朱)委員	<p>最初は障がい者として受けて年齢がきて介護保険に移行するという方もいる。そういった繋がりがあるので載せてもいいと思う。配布場所については民生委員さんを知らない方も大勢いるので、集会所の集まりのときにこういった冊子があること、分からないことがあれば一言言って頂く様な機会を作っていただければと思う。</p>
松井委員	<p>大体自治会では年 1 回くらいで必ず集まりがある。</p>

山岸(朱)委員	地区の民生委員さんが把握するところまで重荷を背負ってもいいのかと思うが、こうしていかないと行田市も高齢者の方でサービス利用者は増えているので緊迫していると思っている。
松井委員	民生委員さんがひとつのポイントか。
近藤委員	この冊子はこれ以上の追加はいいと思う。内容も充実している。文字がかなり多いのでもう少し見やすくするなどの改善はあると思うが、これ以上内容はいいと思う。あとは例えばこの4ページ5ページの部分だけをピックアップしてA3で1枚ぐらいにして民生委員さん等にお配りし、認定を受けるまでの手順や相談場所を周知していく方法はどうか。その上で本当のご利用となったとき、この冊子が生きてくると思った。配布場所は病院、地域公民館、スーパー、ショッピングモール等もいいと思う。
松井委員	4ページ5ページはフローチャート式になっていて分かりやすい。
近藤委員	まずはここがすごく大事だと思う。介護保険外のサービスは例えばこのページと同じぐらいのような用紙で一覧表にして紹介するのがいいのではないか。定期的に更新しながら追加していくのがいいと思う。
浅見委員	私も介護保険の冊子は見やすく、わかりやすいと思う。私たちは分かるが全く分からない方からしたら「介護保険」や「認定」という言葉があるということ自体分からない。中を見たときに説明する人は必要だと思う。あとはこの冊子が目につき、興味が湧くようなデザインがあれば見やすいと思う。中は説明できるような詳しい内容があるので、内容はこのままでいいと思う。連絡先はもっと大きく見やすいところでもいいと思う。気軽に電話は難し

	<p>いと思われるので他の連絡手段を載せるのもいいと思う。ここに行けば相談できるなども載せると分かりやすく目に付くと思った。</p>
松井委員	<p>独居の方は民生委員さんのことや電話番号など知っているのか？</p>
事務局	<p>年に1回高齢者の独居のお家をチェックに行く。</p>
松井委員	<p>民生委員さんとは連絡が取れるようになっている。そうするとここに民生委員さんのお名前と電話番号が書いてあると相談ができる。</p>
事務局	<p>あとは保険外の冊子も高齢者福祉課のほうで作っているものがある。必要な人に対してということでお配りをしていて広めてはいない。</p>
松井委員	<p>民生委員さんはこういうものに対する研修は受けているのか？</p>
事務局	<p>新人さんには新任研修がある。また民生委員さんは定例会を毎月1回行っており、その際に色々な勉強会をしている。</p>
松井委員	<p>ある程度お話しはできるような感じなのか？</p>
事務局	<p>民生委員さんは行政へのパイプ役であるのである程度の言葉はほとんどわかっている。詳しいことは行政のほうでご案内できるようになっている。</p>
松井委員	<p>確かに民生委員さんや自治会長さんが地域で一番関わる方であると思う。何かあったとき相談してもらえよう、パイプを作っておくことは大事。これを活用して、最初はこの広報誌で周知でき</p>

全員	<p>たらしいと思う。次回以降は行田市の協議会の広報についての内容を具体的にしていければと思う。皆さんからいただいた意見をまとめてメールで添付するので目を通していただいてまた次回の協議会でご意見いただければと思う。発行は予算のこともあるので最初は来年4月以降になる。時間はあるので少し煮詰めていければと思う。よろしくお願いします。来月は12月7日木曜日、時間が18時半から。また改めて正式にご案内する。だんだんまとまってきましたのでご意見よろしくお願いします。ありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。</p>
----	--